



DIABETES NEWS

～糖尿病専門医による視点～



糖尿病と整形外科手術

血糖値を適切な範囲に維持し、血糖コントロールがよいほど安全に手術ができます。

高血糖は手術部位が感染症にかかりやすくなるリスク因子となるため、HbA1c7.0（空腹時血糖140mg/dl以下、食後血糖200mg/dl以下）を超えるコントロール不良の糖尿病患者さんでは、普通の人との2～6倍程度、手術部感染症にかかりやすいことが分かっています。

当院では、“糖尿病教育入院”を受け入れており、血糖値を正常値に近づけるような様々な内科的治療を行うことが可能です。

HbA1c値	8.0以上	血糖値をより低値で安定させてから手術
	7.5以上	短期的にインスリン投与
	7.0以下	安全に手術ができると判断



※上記は目安であり、入院後の血糖測定の結果に従いインスリン投与の有無を判断します

糖尿病網膜症

～失明を防ぐために～

血糖コントロールが出来ていない方は網膜症の発症や重症化するリスクが高いと言われています。

また、臨床研究の中で、血糖を積極的に下げる介入を行なったグループの方が、緩やかな血糖コントロールを行なった群に比較して、糖尿病網膜症の発症率が低いという結果がでています。

一方で、急激に血糖を降下させると一時的に糖尿病網膜症が悪化する可能性があると言われており、既に網膜症を発症している場合には注意が必要です。



術前、術後の 血糖コントロールは 当院におまかせください

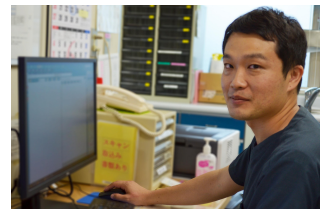
血糖、血圧、脂質代謝管理があって初めて、良い治療効果が得られるとされています。HbA1c値は短期間で下がることはありませんが、そのような場合でも、患者さんの血糖値を安定させるために、専門医として手術可能な適切な術前管理を行います。

コンサルテーションという範疇を超えた連携を延岡市医師会病院にお任せください。手術日に合わせて2週間前にご紹介いただければ、お断りすることは一切ありません。まずは、地域医療連携室にご紹介ください。

糖尿病内科

上平 雄大

日本内科学会 認定医
日本糖尿病学会 専門医



延岡市医師会病院

<https://nobeokashiishikai.or.jp/>

住所：延岡市出北6丁目1621番



市内通話料でOK
ナビダイヤル



0570-03-1302